

# AMDA Journal 号外 ダイジェスト

発行：2008年12月 No.31 定価：100円  
 発行元：〒701-1202 岡山市橋津310-1  
 特定非営利活動法人 AMDA (アムダ)  
 TEL 086-284-7730 FAX 086-284-8959  
 E-mail：member@amda.or.jp  
 編集：AMDA ボランティアセンター  
 ホームページ：http://www.amda.or.jp

## 感謝とご支援の お願い

AMDAの活動に温かいご理解をくださしまして厚くお礼申し上げます。  
 今年も皆様のお気持ちを活動に込めて必要とする人々に届けてまいりました。  
 いただきましたご支援に改めて感謝いたしますとともに、2009年の平和と  
 皆様のご健康を願いつつ AMDA ダイジェストをお届けいたします。  
 来る年も引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## パキスタン西部地震被害に対する緊急支援活動



75人の患者を診療しました。災害後に顕著な、うつや興奮、不眠の症状が多く診られました。また、避難所には産科医や薬剤師がいないため、医薬品(100kg)を地元保健局へ提供しました。



AMDAアフガニスタン支部の医療チームは、カンダハル近郊(パキスタンとの国境から3km)のスペン・ボルダック県病院で待機後、調査を行いました。同チームは、医薬品調達後、診療を希望する住民への巡回診療を開始しました。

### 【派遣者】

計17人(医師8人・看護師3人・薬剤師1人・調整員3人・運転手2人)  
 AMDA本部 ニティアン・ヴィーラヴァーグ 調整員  
 AMDAパキスタン支部 外科医4人(パカイ医科大学病院)  
 運転手2人(パカイ財団)  
 AMDAアフガニスタン支部 医師4人・看護師3人・薬剤師1人・  
 調整員2人(政府系組織AHDS「アフガン保健・開発サービス」他)

パキスタン西部バルチスタン州(クエッタから60キロ北西)で、10月29日にマグニチュード6.4の地震が発生しました。

AMDAは11月9日、AMDAパキスタン支部から外科医4人・運転手2人の医療チームを、被害が大きかったジアラット地区(クエッタから約110キロ北西)に派遣しました。AMDAパキスタンチームはジアラットに11月9～12日滞在し、地元当局によって建てられたカワスの避難所の医療クリニック(テント)で約

## 中国四川省地震被害に対する緊急医療支援活動(5～10月)

AMDA台湾支部や協力団体とともに、四川省の被災地(綿陽市安県、成都市、都江堰市、徳陽市スーフアン)で、手術や巡回診療、医薬品などの配布を行いました。現地協力機関と連携して、心理カウンセラー養成研修と集団心理カウンセリングも実施しました。

復興支援活動として、9月に四川省中西医結合医院と協働で、血圧計と血糖値測定器を病院や診療所に寄贈しました。また、日本国内の関係者(日中青年交流協会・本部福山市/笹山徳治理事長)を通じ、8月23～27日と10月18～23日に四川省綿陽市で健康診断を実施しました。チャン族の子ども、家族を失った子ども、崩壊した家屋や親戚宅で生活する人々、農家の高齢者などを診察しました。風邪、皮膚病、胃



保健室で健康診断(綿陽市10月)



巡回診療(綿陽市10月)

腸、神経痛、婦人病の人が多く、被災後寝たきりの女性もいました。シップ薬、うがい薬、風邪薬、胃腸薬、消毒薬を配布しました。被災した児童が通う学校(生徒総数300人、その内被災児童40人)も訪問し、保健室で健康診断を実施しました。

# ホンジュラス洪水被害に対する緊急支援活動

10月16日にホンジュラスを襲った熱帯低気圧16号により、ホンジュラス全土の広い地域で河川の増水や氾濫、浸水や土砂災害が発生し、深刻な被害を及ぼしました。ホンジュラス共和国政府によると、11月4日時点で死者34人、被害者27万9,972人です。これにより、道路が遮断されるなど交通アクセスが問題となり、各地で孤立するコミュニティが発生しました。

AMDA緊急医療支援チームは、保健省エルパライス県保健地域事務所の要請により、10月27日から29日の3日間、同県ダンリ市内の被災地で巡回診療を行いました。診療患者数は355人でした。

渡辺咲子  
事業統括  
(看護師)  
による診療



駆虫剤を飲む子ども

## 現地保健行政との連携

AMDAは、緊急医療支援の必要性を調査するため、エルパライス県ダンリ市緊急対策委員会、エルパライス県保健地域事務所と協議を行い、被災地域を視察しました。その結果、特にアクセスの困難な地域、保健所スタッフ1人で運営を行っている過疎地域におけるニーズが高いことが判明しました。同県の保健医療サービスを統括している保健省エルパライス県保健地域事務所では、職員すべてが緊急医療支援活動に従事する体制になっており、AMDAの緊急救援活動は、その一端を担うという形になりました。

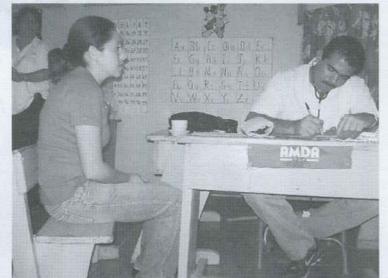
この緊急救援では、AMDA社会開発機構が事業を実施している地域での災害であったため、対策委員会の一員である県保健地域事務所との連絡・調整も円滑に行うことができ、一層速やかな活動が可能となりました。

豪雨により水道管が流され上水道が使用できなくなったり、通常井戸水を使用していて飲料水が汚染されたり、また、家屋への浸水や道路の冠水により常に汚染された水の中を歩かなければならなくなったことから、巡回診療では、汚染された水が原因の疾患が多く見られました。また、熱帯性低気圧16号の後、今年初めての寒冷前線がホンジュラスをおおい、首都で気温が15度以下になるなど、気候の変化が激しかったことから、診療件数から見ると、腸内寄生虫症が24%、感冒、気管支炎などの急性呼吸器系疾患が23%、疥癬(かいせん)、水虫、しらみ、アレルギー性皮膚炎等の皮膚疾患が16%という結果となりました。土砂崩れや河川の氾濫により、アクセスできないコミュニティに関しては、今後の道路復旧状況などをみて活動を検討します。



薬を待つ患者

療システムに関わるようになり、現在、ホンジュラス全土で活躍しています。エルパライス県内にも、現在14人の医師が派遣され、うち3人は専門医としてダンリ市にある地域病院に配属され、1人の疫学専門医は県保健事務所、その他10人はエルパライス県内各地の保健所で活躍しています。



キューバ人医師による診療

キューバ人医師たちは、日常の医療現場での活躍のほか、医師のいない地域へ、月に一回程度、巡回診療も行っています。市役所、NGO等が協力し、医薬品、交通手段を確保し、キューバ人医師たちが、診療を行っています。AMDAグループでも、2002年から2004年にかけて、キューバ人医師らと巡回診療を行った経験があります。そして、現在も、エルパライス県における母子保健事業において、連携して活動を行っています。

このように、今回のホンジュラスの緊急救援は、同国の保健行政、そして公的保健医療システムの一端を担うキューバ人医師との連携により実現したものです。これまでのこうしたパートナーシップがこの緊急救援に活かされ、また、この緊急救援を実施したことによりそのパートナーシップが強化されたといえます。

## キューバ人医師との連携

今回の緊急救援では、県保健事務所職員とそこに配属されているキューバ人医師と医療チームを編成し、巡回診療を行いました。

ホンジュラスへのキューバ人医師派遣プログラムは、1998年11月にホンジュラスを襲ったハリケーンミッチの緊急救援医療活動に始まりました。その後、キューバ人医師らは、同国の総合的な公的医

### 【AMDA 緊急医療支援チーム】 計12人

- 渡辺咲子 AMDA 社会開発機構ホンジュラス事業事業統括 (看護師)
  - 浦上品絵 AMDA 社会開発機構ホンジュラス事業業務調整員 (テグシガルパ事務所にて調整)
  - 医師3人 AMDA 社会開発機構ホンジュラス事業1人  
エルパライス県保健地域事務所キューバ人2人・
  - 看護師2人 エルパライス県保健地域事務所2人
  - 准看護師1人 エルパライス県保健地域事務所1人
  - 環境衛生技師2人 エルパライス県保健地域事務所2人
  - 調整員2人 AMDA 社会開発機構ホンジュラス事業
- \*上記に加えて、地元の警察官と軍人が安全管理のため同行しました。

## ミャンマー保健省 パイン・ソー副大臣 AMDA 訪問



左から、菅波茂 AMDA グループ代表  
パイン・ソー副大臣、岡田茂日本・ミ  
ンマー医療人育成支援協会理事長

11月20日、ミャンマー連邦省のパイン・ソー副大臣、ト・ナイン・ウー保健省医学研究ら同国保健省の要職に就く4人、日本・ミャンマー医療人育成協会の岡田茂理事長とともにAMDAを訪問されました。副は、AMDAが実施したミャンサイクロン被災者支援に対しを伝え、今後の協力について強い支持を表明されました。

# AMDA 社会開発機構 平和とは今日の家族の生活と明日の希望を実現できる状況

## 長期プロジェクト実施国



### 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDA 海外事業本部の事業を承継し、2007 年から社会開発を中心に、アジア・アフリカ・中南米の 8 カ国で、地域保健、貧困の軽減、社会の発展、平和の構築に取り組んでいます。  
〒700-0807 岡山市南方 2-13-1 ゆうあいセンター内  
電話：086-232-8815 FAX：086-232-8816  
E-mail：info@ml.amda-minds.org <http://www.amda-minds.org/>

### 特定非営利活動法人 AMDA 国際医療情報センター

在日外国人を対象に、電話で各国語により、言葉の通じる医療機関の紹介や医療福祉制度など医療情報の提供を行っています。また、外国人患者受け入れに取り組む日本の医療機関に外国人の医療に関する情報を提供し、スムーズな受け入れを支援しています。  
センター東京 事務電話：03-5285-8086 相談電話：03-5285-8088  
センター関西 電話：06-4395-0555  
<http://homepage3.nifty.com/amdack/>

## AMDA の緊急救援活動 (2008 年 5 月～)

### ■ミャンマー・サイクロン被害に対する緊急支援活動 (5・6 月)

AMDA 社会開発機構と連携し、日本人医療従事者・AMDA 現地医療スタッフ・保健省 (保健局・クンジャンゴン市保健局他) 医療スタッフ・住民の参加による巡回診療、飲料水用錠剤と石鹼の配布、保健衛生教育、毛布や古着の贈呈などを実施しました。  
ミャンマー保健省が、国際 NGO に所属する外国人医療従事者に対し、被災地における診療活動を許可したのは、今回 AMDA が初めてでした。

## 救える命があればどこへでも

### ■ネパール・インド洪水緊急医療支援活動 (8～10 月)

AMDA ネパール支部は、AMDA 病院から、医師・緊急救命士・調整員など合計 36 人をネパール・スンサリ郡へ交替で派遣しました。避難キャンプに仮設診療所を開設して、1,813 人の患者を診療しました。ラム・バラン・ヤダブ大統領が、避難所内の AMDA 仮設診療所を訪れ、感謝を述べました。  
また、同支部はネパール子ども病院から、洪水と地滑りの被害が甚大だったカイラリ県に緊急医療チームを派遣し、同県僻地で診療活動を行いました。

## 国内ボランティア活動支部

- AMDA 支部
  - AMDA 兵庫県支部
  - AMDA 神奈川支部
  - AMDA 沖縄支部
- AMDA クラブ
  - AMDA 鎌倉クラブ
  - AMDA 高知クラブ
  - AMDA 福山クラブ
  - AMDA 神女クラブ (神戸女子大学)
- AMDA 高校生会
  - <http://www.amda.or.jp/highschool/about.html>



巡回診療中の細村幹夫医師(右)と小堀他津子看護師(中央)



インド・ビハール州アラリア県での巡回診療の様子

AMDA 本部と AMDA インド支部は、インド・ビハール州に緊急医療支援チームを 2 週間派遣し、アラリア県とスバウル県の避難所 16 ヲ所での巡回診療とアラリア県のプライマリーヘルスセンター (PHC) での診療を行いました。診療人数は、PHC で 311 人、巡回診療で 2,267 人。主な症状は、皮膚疾患、下痢、耳の感染症、呼吸器感染症、心理的不安 (うつ) でした。ビハール州は最貧州であり、初めて医師の診療を受ける患者も多くいました。

保健  
ン・  
局長  
人が、  
支援  
に、  
大臣  
ワー・  
謝辞  
も力

# ボランティアセンター

# 人間は誰でも他人の役に立ちたい気持がある

## AMDA 兵庫県支部



支部設立以来ずっと支援してきたAMDAネパール子ども病院が10年を迎え、11月1日には記念講演会&シンポジウムを成功裏に開催、その様子は毎日新聞紙面で紹介されました。また10年を記念して発刊した絵本「ありがとうね」も好評で、売上げを新しい周産期病棟の建設費に充てようと頑張っており販売しています。来年1月17日にはネパールにて、震災物故者と病院で亡くなった母子への合同慰霊祭を予定しております。これからもご支援よろしくお祈りします。



(AMDA兵庫県支部 会計 中山正紀)

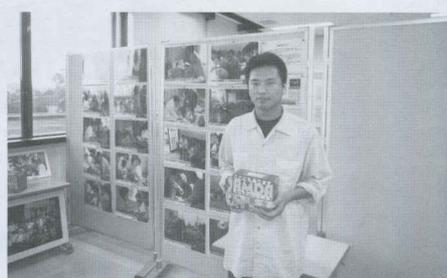
## AMDA 沖縄支部



AMDA沖縄支部は、1995年の設立以来、ニカラグア、ガテマラ、インドネシア、ペルーの緊急救援へ医師と看護師を派遣しました。沖縄県は日本の南玄関であり、歴史的に多くの方々の中南米などに移住していることから、各国で沖縄県人会が構成されています。支部では、こうした地理的特性と人と人のつながりを大きな輪にしていこうと目指しています。より支援が広がるようにと、11月8日、沖縄国際センター主催の国際協力・交流フェスティバルに出展しました。また、これからは地域医療への貢献を考えています。県主催のマラソン大会の医療班のお手伝いを皮切りに、スポーツイベント医療班、県在住外国人の方々の医療支援を通し地域の役に立ちたいと願っています。AMDA沖縄は、国際貢献と地域医療貢献の2本柱でこれからも頑張ります。

(AMDA沖縄支部 支部長 大仲良一)

## AMDA 高知クラブ



10月11日(土)12日(日)の2日間、高知大学医学部の学園祭「南風祭(みなかぜさい)」が開催されました。今年誕生したAMDA高知クラブは教室展示の一角を借りて、AMDAの活動を紹介するブースを開設しました。人目を引く大きなポスターに引き寄せられて、大学祭に訪れた学生や外部の方々も、AMDAブースで足を止め、ミャンマー・サイクロン緊急支援と中国四川省地震緊急医療支援の写真パネルに目を向けていました。実際に現地での活動の様子を目にすることでAMDAの活動がどのようなものかを知る事が出来る良い機会になったと思います。今回は展示のみでしたが、今後は様々な催し物として出展できるように、高知クラブメンバーで相談していききたいと思います。

(AMDA高知クラブ クラブ長 高杉尚志)

### チャリティ企画によるご支援

浅口市歌謡連盟が設立され2年が経過し、AMDAへの支援を提案したところ、役員一同賛成で、即、市文化連盟はもとより、市、教育委員会、市議会も快く賛同してくれ、9月28日、金光公民館(岡山県浅口市)にてチャリティ歌



会場での寄付贈呈

(浅口市AMDAチャリティ実行委員会 三宅生久)

謡祭を開催しました。当日は市長も特別参加で自慢ののどを披露し、又、100余名の会員(歌手)達がいつもより情感たっぷりに唄い、大盛況のうちに会を終えました。会場入り口でのパネル展示、リーフレットの配布により、AMDAの活動を来場者も理解してくれたのではないかと考えております。

### ■書き損じハガキを集めています

書き損じがありましたらAMDAまでお寄せください。切手と交換し、通信費として使わせて頂いています。未使用切手・ハガキも集めています。

※お問い合わせは  
TEL 086-284-7730  
FAX 086-284-8959

### ■AMDA会員の募集

年会費	※医師・一般・学生・法人会員には、活動報告誌『AMDAジャーナル』を年4回、『AMDAダイジェスト(AMDAジャーナル号外)』を年2回、賛助会員には、『AMDAダイジェスト(AMDAジャーナル号外)』を年2回送付しています。
医師会員 15,000円	
一般会員 10,000円	
学生会員 7,500円	
法人会員 30,000円	
賛助会員 2,000円	

\*入会ご希望の方は、同封の郵便払込取扱票の裏面をご覧いただき、必要事項をご記入の上ご入会の手続きをお取りください。

### ■AMDAホームページがリニューアル!

新しい機能も付き、パワーアップ。ぜひご覧ください。  
ホームページアドレス <http://www.amda.or.jp/>

#### 【主な追加機能】 1. サイト内検索に対応 2. 動画の掲載

トップページとAMDAビデオギャラリーで、被災地での活動をご覧いただけます。

3. 携帯サイトの設置 携帯電話からも閲覧ができます。
4. 写真の投稿 AMDAホームページから、写真の投稿をしていただけになりました。投稿をお待ちしています。
5. オンラインクレジットの寄付 ネット上で、AJ・AMDAカードによる寄付ができるようになりました。情報は暗号化されて送信されます。

# AMDA 社会開発機構

平和とは今日の家族の生活と明日の希望を

## 長期プロジェクト実施国

### ミャンマー

中部乾燥地域  
基礎保健サービス向上支援事業  
マイクロファイナンス事業  
コーカン地域  
母子保健・栄養改善事業

### ジブチ

ジブチ市及びアリサビエ市  
ソマリア・エチオピア  
難民に対する医療支援事業  
感染症対策・栄養改善・生活改善事業  
ジブチ国内各地  
貧困者生活環境改善事業（アフリカへ毛布をおくる運動）

### ザンビア

ルサカ市地域  
ルサカ市非計画居住地区結核対策事業  
ルサカ市結核対策強化事業  
コミュニティセンター事業

### ネパール

中西部農村地域  
子ども病院を通じた医療サービスの  
向上と母子保健促進事業

### ベトナム

北部山岳地域  
母子保健促進支援事業

### インドネシア

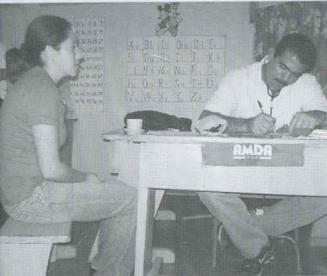
スマトラ島・南アチェ  
紛争後のコミュニティ復興支援事業

### ホンジュラス

エルバライオン  
医療サービス  
デグシバルカ市  
HIV/AIDS 予

### ペルー

リマ市（都）  
栄養改善



キューバ人医師による診療

しています。医療現場での活躍のほか、医師巡回診療も行っています。市役交通手段を確保し、キューバ人。AMDAグループでも、2002年人医師らと巡回診療を行っ

## 特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構

AMDA 海外事業本部の事業を承継し、2007 年から社会開発を中心に、アジア・アフリカ・中南米の8カ国で、地域保健、貧困の軽減、社会の発展、平和の構築に取り組んでいます。

〒700-0807 岡山市南方2-13-1 ゆうあいセンター内  
電話：086-232-8815 FAX：086-232-8816

E-mail: info@ml.amda-minds.org <http://www.amda-minds.org/>

## 特定非営利活動法人 AMDA 国際

在日外国人を対象に、電話で各国語に機関の紹介や医療福祉制度など医療情報また、外国人患者受け入れに取り組む日本療に関する情報を提供し、スムーズな受けセンター東京 事務電話：03-5285-8086  
センター関西 電話：06-4395-0555

<http://homepage3.nifty.com/amdack/>

## ミャンマー保健省 パイン・ソー副大臣 AMDA 訪問



左から、菅波茂 AMDA グループ代表、パイン・ソー副大臣、岡田茂日本・ミャンマー医療人育成支援協会理事長

11月20日、ミャンマー連邦保健省のパイン・ソー副大臣、トゥン・ニン・ウー保健省医学研究局長ら同国保健省の要職に就く4人が、日本・ミャンマー医療人育成支援協会の岡田茂理事長とともに、AMDA を訪問されました。副大臣は、AMDA が実施したミャンマー・サイクロン被災者支援に対し謝辞を伝え、今後の協力についても力強い支持を表明されました。

## AMDA の緊急救援活動 (2008年5月～)

## 救える命があればどこへでも

### ■ミャンマー・サイクロン被害に対する緊急支援活動 (5・6月)

AMDA 社会開発機構と連携し、日本人医療従事者・AMDA 現地医療スタッフ・保健省(保健局・クンジャンゴン市保健局他)医療スタッフ・住民の参加による巡回診療、飲料水用錠剤と石鹼の配布、保健衛生教育、毛布や古着の贈呈などを実施しました。

ミャンマー保健省が、国際 NGO に所属する外国人医療従事者に対し、被災地における診療活動を許可したのは、今回 AMDA が初めてでした。



巡回診療中の細村幹夫医師(右)と小堀他津子看護師(中央)

### ■ネパール・インド洪水緊急医療支援活動 (8～10月)

AMDA ネパール支部は、AMDA 病院から、医師・緊急救命士・調整員など合計36人をネパール・スンサリ郡へ交替で派遣しました。避難キャンプに仮設診療所を開設して、1,813人の患者を診療しました。ラム・バラン・ヤダブ大統領が、避難所内のAMDA 仮設診療所を訪れ、感謝を述べました。

また、同支部はネパール子ども病院から、洪水と地滑りの被害が甚大だったカイラリ県に緊急医療チームを派遣し、同県僻地で診療活動を行いました。



インド・ビハール州アラリア県での巡回診療の様子

AMDA 本部とインド・ビハール州アラリア県の避難所を2週間派遣した。アラリア県のプター(PhC)での診療人数は、PhC 2,267人。主な症候は、耳の感染症、呼吸器(うつ)でした。あり、初めて医も多くいました